

国際シンポジウム

「21 世紀の原子力平和利用と核問題－人類の知恵の結集と挑戦－」 について

平成 12 年 2 月 18 日

国際協力・保障措置課

1. 目的

- (1) 平成 10 年 9 月の原子力委員会国際協力専門部会報告書で、核不拡散に対応した原子力の平和利用政策の推進、そのための対外的発信と政策対話の促進、核不拡散体制の維持・強化への貢献、原子力政策の透明性向上、国内外の理解促進等が提言された。今後プルトニウム利用の本格化が予定されている我が国の一層の核不拡散に係る対応について、内外の理解促進の必要性が一層増大している。
- (2) 国際的にも、ソ連崩壊による核拡散の懸念、余剰兵器プルトニウム管理・処分問題の重要性、インド、パキスタンによる核実験実施等を背景として、昨年のケルン・サミットで、国際的不拡散対応の強化が最重要の優先的課題の一つとされ、また、本年 4 月には第 1 回 NPT 再検討会議が予定されており、本問題に関する国際的な関心が高まっている。
- (3) このような背景の下、21 世紀における我が国の原子力利用のあり方（原子力の平和利用、核不拡散への国際的取組・活動に係る理念・方策）について有識者による意見交換、検討を行い、提言を取りまとめ、国民の理解と関心を一層深めるとともに、国際社会への発信により国際的な理解を増進し、国際世論をリードしていくことを目的として、原子力平和利用・核不拡散政策研究会を開催するとともに、横記国際シンポジウムを開催するものである。

2. 日時：平成 12 年 3 月 9 日（木）、10 日（金）

3. 場所：麴町会館（ル・ポール麴町）2 階「ロイヤルクリスタル」 （300 名収容可） 千代田区平河町 2－4－3

4. 主催：原子力平和利用・核不拡散研究会（座長：黒澤満大阪大学教授； 別紙 1 参照） （当庁から（社）日本原子力産業会議への委託事業）

5. 形式：国内外からの専門家によるキーノートスピーチ及びパネル討論 （プログラムは別紙 2 参照）（日英同時通訳）

6. 参加費：無料

原子力平和利用・核不拡散政策研究会委員名簿

平成12年2月10日

(敬称略・順不同)

座長	黒澤満	大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
委員	浅田正彦	京都大学大学院法学研究科教授
	岩永雅之	核燃料サイクル開発機構国際核物質管理部長
	神谷万丈	防衛大学校社会科学教室助教授
	北野充	外務省総合外交政策局科学原子力課長
	栗原弘善	(財)核物質管理センター専務理事
	下荒地修二	(財)日本国際問題研究所軍縮・核不拡散促進センター次長
	鈴木篤之	東京大学大学院工学系研究科教授
	鈴木達治郎	東京大学工学部客員助教授
	中野賢行	科学技術庁原子力局国際協力・保障措置課長
	野村茂雄	核燃料サイクル開発機構環境保全・研究開発センター 先進リサイクル研究開発部長
	服部拓也	東京電力(株)原子力計画部長
	吉田文彦	ジャーナリスト

以上

国際シンポジウム「21世紀の原子力平和利用と核問題—人類の知恵の結集と挑戦」プログラム

3月9日(木)

(2月17日現在。プログラムは変更される場合があります。)

開会セッション 10:00-11:20

開会挨拶：黒沢 満 原子力平和利用・核不拡散政策研究会座長、大阪大学大学院教授

開会スピーチ：今井 隆吉 世界平和研究所首席研究員

基調講演：「“核の竜”を飼い慣らす—新世紀におけるわれわれの課題—」

A. ベアー前原子力供給国グループ（NSG）議長、前スイス連邦エネルギー省副長官

	モデレーター	キーノートスピーチ
第1パネル 11:20-14:35 核不拡散の理念と実現	I. スペクター 米国エネルギー省軍備管理・核不拡散担当次官補代理 黒沢 満 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授	「東京フォーラムの意義と今後」 下荒地 修二 (財)日本国際問題研究所 軍縮・不拡散促進センター次長 「NPT延長会議で合意された『原則と目標』をどのように推進し実施するか」 J. ホラム 米国国務省軍備管理・国際安全保障問題担当上級顧問、前軍備管理軍縮庁長官 「米国上院でのCTBT承認否決と今後の見通し」 浅田 正彦 京都大学大学院法学研究科教授 「行き詰まった軍縮プロセスの再活性化」 B. チェラニー インド政策研究所教授(安全保障問題) 「パキスタンと核不拡散体制」 I. アーマド パキスタン原子力委員会委員長
第2パネル 15:05-17:00 冷戦終結の負の遺産の後始末と核問題	G. ル・ゲルト 元フランス原子力庁国際部次長、国際戦略研究所理事 鈴木 篤之 東京大学大学院工学系研究科教授	「冷戦時の遺産である核の取扱の問題—ロシアの見通し—」 R. ティメルバエフ ロシア政策研究センター理事長、元ソ連 IAEA 大使 「冷戦の核遺産—米国の見通し—」 L. スペクター 米国エネルギー省軍備管理・核不拡散担当次官補代理 「ロシアの余剰核解体プルトニウム処分問題への技術的貢献」 岩永 雅之核燃料サイクル開発機構国際核物質管理部長

3月10日(金)

	モデレーター	キーノートスピーチ
第3パネル 9:30-12:00 核不拡散と原子力平和利用の接点	J. アーマド パキスタン原子力委員会委員長 服部 拓也 (東電) 東京電力(株)原子力計画部長	「原子力、核廃絶主義および不拡散: 収束、あるいは発散しているのか？」 E. ヘッゲル ドイツ外交政策研究所上級研究員 「核不拡散における神話と現実」 G. ル・ゲルト (前出) 「核不拡散と原子力平和利用の調和は可能か: 一理論的および歴史的的分析」 朱明権 (中国復旦大学) 「保障措置の強化・効率化・普遍化」 坪井 裕 日本原子力研究所企画室調査役 「民生用プルトニウムについての今後の課題」 鈴木 達治郎 東京大学大学院工学系研究科客員助教授 「JNC 原子力平和利用国際フォーラムの成果とくに核拡散抵抗性技術について」 岩永 雅之 (前出) 「サブナショナル・レベルでの核セキュリティ問題」 R. ハウズレー 英国核燃料会社(BNFL)国際・保障措置部長
第4パネル 13:00-15:00 核不拡散に関わる国際的枠組みと日本の役割と貢献	J. ホラム (前出) 栗原 弘善 (財)核物質管理センター専務理事	「国際協力および核不拡散のための KEDO プロジェクト」 B. K. キム 韓国原子力研究所原子力管理技術センター長 「日本からの視点」 栗原弘善 (前出) 「アジアから見た日本の原子力平和利用と核不拡散政策への期待」 中国: 朱明権 (前出)、韓国: B. K. キム (前出)、 インド: B. チェラニー (前出)、パキスタン: J. アーマド (前出) ・コメント 神谷万丈 防衛大学校社会科学教室助教授
第5パネル 15:30-16:40 「21 世紀における原子力平和利用推進と核不拡散のための行動計画」核不拡散政策研究会の国際的提言について	A. ベアー (前出) 黒沢 満 (前出)	・提言の内容についての紹介: 大井昇 (社)日本原子力産業会議
閉会セッション 16:40-16:50 閉会挨拶: 遠藤 哲也 原子力委員会委員		

日本側パネリスト名簿

[パネリスト]

黒澤満	大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
浅田正彦	京都大学大学院法学研究科教授
岩永雅之	核燃料サイクル開発機構国際核物質管理部長
神谷万丈	防衛大学校社会科学教室助教授
栗原弘善	(財)核物質管理センター専務理事
下荒地修二	(財)日本国際問題研究所軍縮・核不拡散促進センター次長
鈴木篤之	東京大学大学院工学系研究科教授
鈴木達治郎	東京大学工学部客員助教授
坪井裕	日本原子力研究所企画室調査役
服部拓也	東京電力(株)原子力計画部長
吉田文彦	ジャーナリスト

[その他講演者]

開会スピーチ：今井隆吉 世界平和研究所首席研究員

閉会挨拶：遠藤哲也 原子力委員会委員

提言説明：大井昇 日本原子力産業会議参与

海外パネリスト名簿

Ishfaq Ahmad I. アーマド	Chairman, Pakistan Atomic Energy Commission パキスタン原子力委員会委員長
Alec J. Baer A. ベアー	Former Chairman of the Nuclear Suppliers Group (NSG) Former Deputy Director General, Swiss Federal Office of Energy 前原子力供給国グループ(NSG)議長、前スイス連邦エネルギー省副長官
Brahma Chellaney B. チェラニー	Professor of Security Studies, Center for Policy Research インド政策研究所教授(安全保障問題)
Erwin Haeckel E. ヘッケル	Prof. Deutsche Gesellschaft fuer Auswaertige Politik, Bonn ドイツ外交政策研究所上級研究員
John Holum J. ホラム	Senior Advisor for Arms Control and International Security Affairs, State Dept. Former Director for the Arms Control and Disarmament Agency (ACDA) 米国国務省軍備管理・国際安全保障問題担当上級顧問 前軍備軍縮管理庁長官
Roger Howsley R. ハウズレー	Head of Security, Safeguards and International Affairs, BNFL 英国BNFL国際・保障措置部長
Kim Byung-Koo Energy B. K. キム	Director, Technology Center for Nuclear Control, Korea Atomic Research Institute (KAERI) 韓国原子力研究所原子力管理技術センター長
Georges Le Guelte G. ル・ゲルト	Former Deputy Director, International Affairs, CEA Director at the Institut de Relations Internationales Strategiques (IRIS) 元フランス原子力庁国際部次長、国際戦略研究所理事
Leonard Spector L. スペクター	Deputy Assistant Secretary for Non-Proliferation and National Policy, DOE 米国エネルギー省軍備管理・核不拡散担当次官補代理
Roland Timerbaev R. ティメルバエフ	Chairman of the Board of the Center for Policy Studies in Russia Former USSR Ambassador to the IAEA Former Head of Atomic Energy Dept., Foreign Ministry ロシア政策研究センター理事長、元ソ連IAEA大使 元ロシア外務省原子力部長
Zhu Mingquan 朱明権	Professor, Fudan University, Shanghai, China 中国復旦大学教授